

スクールサポート隊便り

令和2年 夏号

金沢市立伏見台小学校

育友会会長	橘 裕之
町会連合会会長	高山 真幸
校長	森 裕之
地区委員長	石崎 志保



暑さ厳しい折、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

先日、令和2年度第1回スクールサポート隊連絡会が開催され、『学校は楽しくてなんぼ!』『元気があればなんでもできる』を目指そうと、活発な意見交換がなされました。

日頃から大変お世話になっているスクールサポート隊の方々から貴重なご意見をいただきました。

安全な登下校のために

遠回りしても横断歩道を渡るように児童に声を掛けています。

交差点で車の前へ出て避けない児童を見かけます。家庭での指導もお願いします。

感染症対策のマスクで表情が分からないことが多いので積極的に声を掛けています。

登校時は複数人で登校していますが、下校時は一人歩きの児童が多いのでご注意ください。

横に広がって歩かないように指導をお願いします。

小学校前の地下道を出来るだけ利用して安全に横断してください。

その他のご意見

下校時にマスクを廃棄する児童がいるので感染症対策のうえからも持ち帰るようにご指導ください。

自宅へ帰る道がわからない児童を見かけました。集団登下校を検討してもよい時期なのかもしれません。

あいさつをしてくれる児童は半分くらい。低学年の児童は元気に挨拶してくれます。

手を挙げて横断歩道を渡らない、などのマナーを知らない児童を見かけます。

傘を振り回してサポート隊や他の児童が危険なことがありますのでご家庭でもご指導をお願いいたします。

保護者の皆さまへ

ご家庭では、登下校時の交通ルールの確認のほか、車が停車したことを確認して横断する等、

「自分の命を自分で守る」行動ができるよう、お子様と話し合ってくださいようお願いします。

また、スクールサポート隊の少ない地域では、信号機のない横断歩道を子どもたちが自分たちの判断で横断していて危険との意見もありました。

保護者の皆さまも見守り当番のほか、できる限り、安全な登下校へのご協力をお願いします。

サポート隊の方々も子どもたちの元気な挨拶がパワーの源です。大きな声であいさつできるようにご自宅でもあいさつの大切さをお伝えください。